

一橋大学経済研究所グローバル COE プログラム
地域・市場分析研究グループ、ミクロ分析研究グループ共催レクチャーシリーズ

「農業簿記論——京大式簿記と農家経済統計——」

講師：浅見 淳之
(京都大学大学院農学研究科准教授)

1. 日時

：2009年8月31日(月)・9月1日(火)・9月2日(水)

各日ともに、9:00-10:30・10:40-12:10・13:20-14:50・15:00-16:30 の計 12 コマを予定。
具体的な講義(ディスカッションを含む)のスケジュールにつきましては、開講初日にお知らせいたします。

*事前申込制とさせていただきます。なお、定員となり次第締切とさせていただきます。

2. 会場 (下記に変更いたします。2009年8月21日)

：一橋大学国立東キャンパス マーキュリータワー 5階 3506室

3. 講義内容

：本講義は、おもに農家経済の捉え方、および農家経済統計の原簿で用いられている単式簿記の内容を説明します。また、講義内容と指定文献について、講師と参加者によるディスカッションを行います。

4. 講義テキスト、指定文献、参考文献

：(1) 講義テキスト

- ① 磯辺秀俊(1971/84)『改訂版 農業経営学』養賢堂、第3章「農業の経営形態」(pp.39-71)。
- ② 菊地泰次(1986)『農業会計学』現代農業経済学全集第15巻、明文書房、第1章「総論」(pp.1-23)、第2章「自計式農家経済簿記」(pp.24-149)。
- ③ 浅見淳之(2009)「戦前期農家経済統計の簿記様式の変遷について」佐藤正広編(2009)『農家経済調査データベース編成報告書 Vol.4 農家経済調査の資料論研究——斎藤萬吉調査から大槻改正まで(1880-1940年代)——』統計資料シリーズ No.63、一橋大学経済研究所附属社会科学統計情報研究センター、所収(pp.1-44)。

：(2) 指定文献(ディスカッション)

- ① 大槻正男(1938)『農家経済簿記：その原理と京大式簿記詳説』養賢堂、第1編総説 第2章「農家経済」(pp.1-18)、第4章「取引」(pp.28-38)、のちに大槻正男(1978)『農業簿記論 II』大槻正男著作集第4巻、楽遊書房、(第2章:pp.8-28,第4章:pp.42-55)に再録。
- ② 柏祐賢(1938)「現金受払式簿記の複式簿記的性格」『農業経済研究』第14巻第1号、pp.71-101。のちに柏祐賢(1980)『農学のゆくえ』富民協会、pp.151-178に再録。

: (3) 参考文献

- ① 京都大学農学部農業簿記研究施設編『自計式農家経済簿 記帳の解説』富民協会発行。
- ② 稲葉泰三編著(1953)『復刻版 農家経済調査報告——調査方法の変遷と累年成績——』農業総合研究刊行会。

5. その他

本レクチャーシリーズへのご出席をご希望の方は、①お名前、②ご所属、③ご専攻の分野、④メールアドレス、それぞれをご記入の上、COE 研究員林 幸司(lin@ier.hit-u.ac.jp)まで、お申し込みください。

幹事：一橋大学経済研究所 佐藤 正広／
尾関 学(ozeki@ier.hit-u.ac.jp)